（様式１）

平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） １２１	**提案機関名**	財団法人相模湾水産振興事業団

要望問題名　酒匂川から流入する濁水が漁場環境や水産資源に及ぼす影響について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

○　平成 22 年 9 月の台風 9 号の豪雨により酒匂川から相模湾に流れ込んだ大量のゴミや樹木、草等は海岸や漁港、定置網に漂着し、漁業関係者に甚大な被害をもたらした。

○　さらに、これらの土砂や樹木、草等は広い範囲で海底や岩礁等に堆積し、漁業生産活動の障害となっているだけでなく､漁場環境や水産資源に悪影響を及ぼすことが懸念されている。

○　相模湾の漁場環境や水産資源の保全、回復の取り組みの一環として、河川から流れ込んだ大量の泥が周辺海域の漁場環境や水産資源に及ぼす影響について把握する必要がある。

○　そこで、酒匂川河口ならびにその周辺の沿岸地域の地先において、海水の濁り、海底の堆積物や底質、底生生物、磯根の状況について調査を要望する。

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター　②畜産技術センター　③水産技術センター ④自然環境保全センター
備　考	

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	**担当部所**	相模湾試験場

対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

酒匂川濁流影響調査

対応の内容等

平成 22 年 9 月の台風９号の豪雨による影響については、現在、貴事業団からの依頼により酒匂川河口及びその周辺海域の底質、底生生物等の調査を実施しております。海域に流れ込んだシルト等の影響については、長期にわたり把握する必要があると考えておりますので、今後も継続して調査を実施してまいります。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	